

2013年(平成25年)度  
経済財政政策関係業務等に必要なシステムに係わる  
業務・システム最適化実施評価報告書

2014年12月12日  
内閣府本府情報化推進委員会決定

1. 経済財政政策関係業務等に必要なシステムの概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	内閣府経済社会総合研究所総務部
府省全体管理組織担当課室名	内閣府大臣官房企画調整課情報システム室
対象期間	2013年4月1日～2014年3月31日
最適化工程の段階	設計・開発段階、運用段階

2. 設計・開発段階、運用段階における評価

(1) 設計・開発段階における評価

プロジェクトの実施・推進(国民経済計算システム(SNA))

(最適化の実施内容)

新システムの設計・開発及び進捗管理の実施。

(最適化の実施状況)

2013年度、2014年度末までに承認されたシステムの最適化計画を実現すべく、CIO補佐官を始めとする関係各位の協力を得つつ、以下の①から⑤について2011年度策定した全体設計等に準拠した仕様書による調達を経て、設計・開発及び進捗管理を実施し、予定通り国民経済計算(SNA)の個別システム(新システム)の構築整備を完了した。

- ① 土地資産額推計システム(年次推計)の最適化設計および開発を行った(株式会社BSNアイネット)。
- ② 供給側QE推計システムの最適化設計および開発を行った(株式会社SRC総合研究所)。
- ③ 固定資産推計システムの最適化設計および開発を行った(株式会社ライテック)。
- ④ コモディティ・フロー法推計システム(補間年)の最適化設計および開発を行った(株式会社ライテック)。
- ⑤ 付加価値推計システム(基準改定)の最適化設計および開発を行った(株式会社リベルタス・コンサルティング)。

**【最適化実施の評価】**

○課題及び問題とその原因

特になし。

○対策

特になし。

(2)運用段階における評価

システムの運用(景気統計システム)

(最適化の実施内容)

新システムの運用。

(最適化の実施状況)

2011年度から本格的な運用を行い、景気動向指数及び機械受注統計について、景気統計システムを用いた公表体制へ移行した。公表作業について問題なく進めることができた。

**【最適化実施の評価】**

○課題及び問題とその原因

特になし。

○対策

特になし。

3. 最適化の効果の評価

2013年度、全体最適化の効果は発現しない。

4. 最適化実施の総合評価

再スタート後の「国民経済計算システム(SNA)」の最適化プロジェクトは、概ね適切に進んでいる。

最適化計画の最終年度となる2014年度においても、引き続きCIO補佐官及び関係部署間で緊密に連携し、SNAの以下の個別システムの設計・開発の調達を実施し、厳格なプロジェクト管理を行うことで、2014年度末までに最適化計画を確実に実現することに注力すること。

・雇用者報酬推計システム

なお、「景気統計システム」については、前述のとおり2011年度から新システムを用いた公表体制へ移行し、問題なく運用できている。

5. その他

なし。

6. 添付書類

なし。